

宇治情報

No.108

(体験集通算 458号)

宝蔵

神の子の生命礼拝

生長の家宇治別格本山 祈願部部长

阿部 秀輝

合掌 ありがとうございます。宝蔵会の神の子の皆様、日頃から宇治別格本山にご愛念を賜りましてありがとうございます。本山内も少しずつ紅葉が始まりました。

先月は神性開発宇治短期練成会十一月三日～五日)が開催されました。新型コロナウイルス感染症防止のために、令和二年三月の短期練成会が中止となりましてから、三年八月月ぶりの開催となりまして、三十一名の皆様が受講されました。講話、聖經『天使の言葉』、『甘露の法雨』、経



▲写経奉安式の様子

本『大白然讃歌』、『観世音菩薩讃歌』、『人類同胞大調和六章

経』の読誦、基本的神想観、浄円月観、入龍宮幽齋殿にての神想観に念ずる言葉、祈り合いの神想観、浄心行、実相田満通行の実修、献劣と行を中心に神性開発が行われました。十二月、一月は練成会が行われず、「日講話」の開催となりますのでよろしく願います。

また、今月は神癒の社入龍宮幽齋殿にて「写経奉安式」が行われます。皆様から頂いた「奉納写経」を、本山員によって幽齋殿から写経奉安礼拝殿に奉安されます。今月から毎日、十年間、讃歌または聖經読誦が行われます。

更に今月の『宝蔵』には「新春書初め」申込書を、皆様にお届けしております。書初めの受付は十二月一日より始まっております。新年祭期間中(一月一日～三日)を除き、書初めの実修を写経室でできますので、ぜひご利用ください。

『日々の祈り 神・自然・人間(次頁に続く)』

の大調和を祈る』の『終り』は『始まり』であることを知る祈り」(百七十九頁)には「この現象世界は無限表現の舞台であることを知る。物事は変化しながら繰り返され、繰り返されながら変化していくのである。(中略)夜のあとに朝があり、冬の後には春があり、死の後には生があり、その継続が繰り返される。この変化と繰り返しの過程で、無限の表現が行われるのである。時間と空間のひろがりの上に有限が展開すること、無限は表現されるのである。私はだから、変化を恐れないのである。終り

は始まりの揺り籠であり、始まりは一層高度な表現を約束する」とあります。毎年同じことの繰り返しの見えても、実は無限が開かれていくのです。ですから、何度、練成会を受けられても同じことはなく、「一日講話」を受け続けられても、同じことの繰り返しのならない。必ず、気付きや生長があるものです。行を継続すると善い業、つまり善業となります。神の子の生命礼拝に気付くことで、同じ環境や境遇が光り輝いてきます。三正行をこれからも続けて参りましょう。

随想

今年も鏡餅・初午祭の申し込みの季節がやってきました

祭務課 課長 鵜飼 俊光

宝蔵会会員の皆様におかれましては、日々神の子の素晴らしい日々をお過ごしのことと心より祝福申し上げます。また、日頃より本山への変わらないご

愛念とご支援をいただいておりますことを、この場を借りまして感謝申し上げます。

さて、一時は秋冬が来ないのかなあと



思うほどの暑い日が続いていますが、ようやく気候が季節に追いついてまいりました。もう今年も早いもので残り一か月を切りました。表題の鏡餅のお供

え申し込みは十一月にスタートし、初午祭の末一稻荷神社繁栄祈願も始まっております。この鏡餅お供え申し込みも末一稻荷繁栄祈願申し込みも、共通して云えますのは皆様の実相の円満完全性が顕現する機会であるということです。

鏡餅をお供えするということは、年神様の依り代(あらわれ)としての鏡餅をお供えすることです。その鏡餅の構成するそれぞれのパーツを象徴として、来年一年間の全ての神様からの恵みをいただくことでもあります。一つ例を挙げますと、串柿などは両端に二個ずつ中央に六個の柿・嘉来(かき)が並んでおります。これは、家族のみな

らず全ての存在が、いつもニコニコと喜びの内に大調和して、子孫繁栄している有様を象徴しております。この様にそれぞれの構成部分が実相圓滿完全性を象徴しており、それが結び合って全体として、年神様の依り代として成立していることを観るときに、神様を光源として発せられた光としての、神の子である我々のこの上の無い絶対幸福な身の上に喜びが沸いてまいります。末一稻荷神社初午祭に祈願を出すということも、和銅四年(七一年)二月初午の日に稲荷大神が稲荷山に鎮座したゆかりの日である初午の日に、この一年の五穀豊穡をはじめとして、様々なレベルに於いて発せられる神の子としての諸願成就を祈願するということがございます。この祈願も「すでに受けたりと感謝をささげる」ことによって、既にある圓滿完全な絶対の恵みを認めることによって、顕現していくことが重要なことであります。またこの様々なレベルといえますのは、神の子の実相圓滿完全性の発露として、個人的なものから社会的・国家的・世界的・

宇宙的なものへと拡大していく生命の伸張拡大をも完全に守護してください。ということも含まれます。

我々は神の子として、このような鏡餅お供え申し込み、末一稻荷祈願教勢発

第六〇八回 短期練成会

体験感想文

R. Q (70代〈女性〉)

土・日の「一日講話」を拝聴したいと電話をしたところ、短期練成会が開催されると聞き、参加させていただきました。

どの講師のお話も、もう一度再現してお聴きしたいと思つほごでした。生長の家のみ教えにご縁を頂いたのは遙か昔で



宇治や河口湖道場などの練成会に参加させていただいております。

展・繁栄祈願を出すことにより、これまでに体験したことのない素晴らしい圓滿完全な二〇二四年を喜びをもって共に邁進してまいりましょう。

そんな幸福者なのに、いつの間にか光明思想から外れ、感謝できない自分に反省を強いたり、自己処罰したりしていました。この度の練成会に参加して生長の家の生活は、ひたすら喜び、感謝する光明生活なのだとお教えいただき、目を覚ましていただきました。

ここ一、二年ふとしたことで「そのまま」を喜び、感謝するという「そのまま」ということがどういふことかわからない自分に気付き、疑問に思っておりました。この度の練成会でハッキリ解らせていただいた気持ちです。ご指導いただいた講師の方達の情熱が伝わって参りまして、感謝でいっぱいです。

(6頁に続く)

12月 大浄心のための【ご先祖と共に喜びの一日講話プログラム】(会場:大講堂)

聴講希望者は、三密を避け感染防止対策を行った上、40名まで参加できます。

日付・曜日	日付・曜日	時間	講話及び行	講師	テキスト
2日 土	神癒への道	10:20~11:05	開会の祈り・物質なし!現象なし!病なし!	清水 志郎	「夢の地平線」 「光明法語」
		11:15~12:00	神癒への道	千羽 真平	「夢の地平線」 「光明法語」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	高 千穂	
		13:15~14:00	感謝はすべてを癒す	鶴岡 俊光	「夢の地平線」 「光明法語」
		14:15~15:00	形も制限もない本当の幸せ	榎本 一子	「夢の地平線」 「光明法語」
		15:00~15:35	【実相円満講話】実修・開会の祈り	岡田 浩二	
3日 日	明るさが幸せの秘訣	10:20~11:05	開会の祈り・光り輝く神の子の本性	榎本 一子	「夢の地平線」 「光明法語」
		11:15~12:00	明るさとは、あなたらしく生きること	清水 志郎	「夢の地平線」 「光明法語」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:45	思い切って“光”の一步を踏み出そう	小野 大作	「夢の地平線」 「光明法語」
		14:00~14:50	自分が変われば世界が変わる・開会の祈り	岡田 浩二	「夢の地平線」 「光明法語」
9日 土	幸せな恋愛・結婚・家庭生活	10:20~11:05	開会の祈り・愛することは幸せなこと	榎本 一子	「合本讃歌」 「人生の断想」
		11:15~12:00	幸福な結婚をするために	千羽 真平	「合本讃歌」 「人生の断想」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	千羽 粽子	
		13:15~14:00	わが家は愛と幸福がいっぱい	鶴岡 俊光	「合本讃歌」 「人生の断想」
		14:15~15:00	真理と生活	堀端 芳樹	「合本讃歌」 「人生の断想」
		15:00~15:35	【如意宝珠観】実修・開会の祈り	榎本 一子	
10日 土	祈り合いの神想観	10:20~11:05	開会の祈り・何よりも尊い「神の子」の真理	岡田 浩二	「合本讃歌」 「人生の断想」
		11:15~12:00	輝く未来が待っている	阿部 秀輝	「合本讃歌」 「人生の断想」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:45	切なる祈りは必ず叶えられる	新宮 一	「合本讃歌」 「人生の断想」
		14:00~14:45	神の御心に叶う祈り ~相手の幸福を祈る~	清水 志郎	「合本讃歌」 「人生の断想」
		14:45~15:20	【祈り合いの神想観】実修・開会の祈り	清水 志郎	
16日 土	先祖・流産児供養祭	10:20~11:05	開会の祈り・久遠の今を生きる	清水 志郎	「日々祈り」 「美しく生きよう」
		11:15~12:00	喜びの先祖・流産児供養	堀端 芳樹	「雲供養入門」
		12:00~13:15	昼食・休憩・霊牌記載		昼食希望の方はご予約ください
		13:15~14:00	ただ感謝、ただ愛行の喜びの日々	新宮 一	「日々祈り」 「美しく生きよう」
		14:15~15:00	あなたは必ず幸せになれる	榎本 一子	「日々祈り」 「美しく生きよう」
		15:30~16:30	【先祖・流産児供養祭】(大拜殿)	祭 司 部	
17日 日	天分・能力を 発揮する	10:20~11:05	開会の祈り・現象に捉われず、実相を觀ぜよ!	岡田 浩二	「日々祈り」 「美しく生きよう」
		11:15~12:00	天才はすべての人の中に既にいる	阿部 秀輝	「日々祈り」 「美しく生きよう」
		12:00~13:00	昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00~13:15	体験談	藤本 和博	
		13:15~14:00	自己限定を打ち破れ! ~吾は神の子なり~	清水 志郎	「日々祈り」 「美しく生きよう」
		14:15~15:00	天分を生きる幸せ	岡田 伊都子	「日々祈り」 「美しく生きよう」
		15:00~15:35	【自己礼拝の神想観】・開会の祈り	岡田 伊都子	
23日 土	大浄心のための 「浄心行」	10:20~11:05	開会の祈り・罪本来なし	岡田 浩二	「人類同胞大調和六章経」 「栄える生活365章」
		11:15~12:00	光を当てたとき、闇は消える ~浄心行について~	小野 大作	「新しい文明を築こう・中巻」
		12:00~13:15	浄心行用紙記載・昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:15~13:30	体験談	岡田 多美子	
		13:30~14:15	父母の愛に導かれて	岡田 伊都子	「人類同胞大調和六章経」 「栄える生活365章」
		14:25~15:40	「浄心行」・開会の祈り	清水 志郎	聖経「甘露の法雨」 「万物調和六章経」

◆会場内の注意事項

・座席はソーシャルディスタンスを保っておりますので、椅子の移動はご遠慮ください。 ・至近距離、大声での会話はしないでください。

◆食堂使用時の注意事項 (※昼食利用の方は事前にご予約ください)

・マイ箸・マイボトルをご持参ください。 ・1テーブルに1名ずつ座り、同方向を向いて食事をしてください。



「ご先祖と共に悦びの一日講話」聴講にぜひお越しください

※参加人数は先着40名までとなっております。

◆お申し込み方法（締切：参加前日まで）

- ・練成部へのお電話(0774-21-2153)にて名前・県名・電話番号・参加希望日等を伝えていただくか、申込フォーム(Facebook及びホームページ、右のQRコードから入れます)にて、必要事項を入力してお申し込みください。

※参加申し込みは参加前日までのメ切となっております。

◆奉納金（昼食代は別途要・ご随意）

大人・・・1,500円/子供(3歳～12歳)・・・750円

◆以下の症状に該当する方は参加不可となります

体温37.0度以上の方、咳が出る等体調不良の方

※受付で検温を実施いたします

◆参加に当たっての主な注意事項

- ・本山内ではマスク着用を推奨しております(一枚50円で受付でも販売しています)。
- ・トイレ使用後は石鹸で手洗いをしてください。
- ・受付、会場、食堂、トイレ等の出入りの際は、手のアルコール消毒をしてください。
- ・ソーシャルディスタンス(約2m)を守り、握手やハグ等の身体的接触は避けてください。



申込フォーム
QRコード



★土日講話参加者の宿泊を受付いたします

◆受付対象者

- ・土日両日参加し、全講話を受講予定の方 ※近隣にお住いの方でも宿泊できます

◆料金

4,500円+土曜日の昼食代(御随意)

(4,500円の内訳は《講話参加費2日分=3,000円》+《参籠費(1泊食事付)=1,500円》です)

◆申し込み方法等

- ・**宿泊2日前の木曜日の17時までに、お電話（練成部：0774-21-2153）により予約手続きをしてください。**
- ・土曜日の夜一泊のみ《金曜日からの宿泊はできません。12月23日(土)の宿泊も参籠費4,000円で受付いたします（21日(木)17時締め切りとなります）
- ・その他詳細につきましては、ホームページまたは右のQRコードより「宿泊案内手引き」をご覧ください。



「宿泊案内手引き」

※ご相談がありましたら練成部までご連絡ください

★講話参加の際に電車を利用される方に向けまして、京阪宇治駅とJR宇治駅に出迎えバスを手配いたします。

- ・出発時間：京阪宇治駅9：45発、JR宇治駅9：55発
- ・集合場所：各駅ロータリー

(運転手が「生長の家」のプラカードを持って立っています)

となっております、出迎えは上記時間の1回のみであり、各駅時間となりましたら出発いたします。希望の方は出発時間までに集合場所に来ていただくようお願いいたします。

(※道路の混雑具合等でバスが時間より遅れる可能性もございます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。)



(3頁から続く)

M・U (20代)〈女性〉

以前から練成会には何度も参加させていたが、最近は「一日講話」に何度も参加しておりました。久しぶりの泊まりの練成会ということで参加したくなり、今回は一人で参加させていただきました。

講話はどれも素晴らしく、為になるものばかりでした。

「人はそのままで円満完全な神の子で素晴らしい存在」という内容が一番強く印象に残り、改めて実感できました。淨心行では、心の中に潜んでいたモヤモヤなどをすべて出し切ることが出来、また両親への感謝が出来、とても貴重なよい時間を過ごすことが出来ました。

今まで私は人に対して好き嫌いが多く、自分が一番しんどかったのですが、どんな方と会っても皆神の子ですばらしい存在なのだと思えるようになっていきました。現象的には

悪く見えるような人でも皆神の子だと信じることで、一人一人の存在が尊くすばらしいと信じられると思うので、その練習をしていきます。

Y・K (40代)〈女性〉

八月に研修生をさせていただき、さらに真理を学び自己研鑽をさせていただきたいと思っていたところ、短期練成会が三年半ぶりに再開されると知り、参加させていただきました。

今回の短期練成会の二日目までの行事で、心に強く残ったことがいくつもありました。

座談会で榎本講師に「自分が相手によかれと思っていたことは、例えば手くいかなくても全部よかったのだと受け止めたらよい」と教えていただき、とても気持ちが悪くなりませんでした。

幽霊殿での阿部講師のお話では、神様から許されているという気持ちになりました。

淨心行では、用紙に記入してみると、先ず「自分を許せない」ということを



書いていて驚きました。淨心行をうけたあとは、心が軽くなり、

明るい気持ちになれました。

岡田伊都子講師のご講話で、周りの人を愛することが大事というお話をお聴きして、私も自分の周りの方々を祝福し、幸せを祈っていきたくと思いました。今回もどの講話も素晴らしく、久しぶりに練成会を受けさせていただきました本当に良かったです。

T・E (20代)〈女性〉

ある日突然頭の中に、練成会中によく流れる「ラテツキー行進曲」が流れて来て、「あゝ宇治の練成会行きたいなあ、そろそろやらなかなあ」とホームページを見たら「三年ぶりに短期練成会やります」の文字が。何だか導かれているような気がして、参加を決め

ました。丁度仕事でモヤモヤしていた時期だったので、スッキリしたい気持ちもあつたからです。

久しぶりの宇治は空気が澄んでおり、いるだけで心が洗われる気持ちになりました。

講話や浄心行では、日頃忘れていた生長の家のみ教えを思い出せていただきました。「目の前にいる人は自分に何かを教えてくれている（例えイヤな姿でも）」と「ごうことや、親への感謝はコトバで表現することなど、忘れていました。イヤなことをする人には、そのままイヤと受け取っていたので、これからは自分に何を気づかせようとしてくれているかを今一度考えてみることにします。



明るいコトバ、思念、表情が善い人

生を創つていくことを忘れず、日々を大切に感謝して過ごそう

と思えます。

A. B (70代) (女性)

手首の骨折の手術後、身体のバランスが崩れ、腰や背中が痛く、日が経つにつれ思うように歩けなくなったことと、骨折部のプレートを取り除く手術をすることへの不安で練成会を受けに來ました。その他、色々問題を抱えていましたので、自分の罪深いことにはばかり目が行き、これはいいと教えられたことや、気づかされたことをやってみても結果が出ないことに失望していました。元來暗い消極的な性格でしたので、益々落ち込んでいました。

けれど練成会で、もっと神の子の自分を認め、感謝して喜ばないと、一番父母に申し訳なかったと気づかせてもらいました。父母は自分を常に愛してくださっている。私のすべきことは父母、ご先祖様への感謝と周りの人に愛を与えることしかないとわかりました。帰りましたら、周りの人が喜ぶように明るく楽しくお声掛けしたり、行動

していきます。

M. S (60代) (女性)

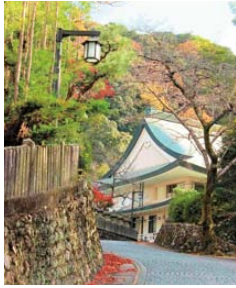
三年半ぶりの練成会、嬉しくて何とかが参加したいと思い、日帰りになりましたが参加させていただくことが出来ました。「一日講話」も素晴らしいですが、練成会となると、座談会やそこで発表された人と休み時間にお話したりと練成会ならではの楽しさも感じる事が出来ました。

この一年、びっくりするようなことが次々起こり、その現象に不安や恐怖を感じる事がりましたが、足しげく宇治の「一日講話」に通わせていただいたお蔭で、以前の私なら心折れてしまっていただろうと思えることが、「きつとよくなる！神の心のままになるのである」と思えるようになりました。

「家族みんな完全円満な神の子であつて、神に祝福され生かされているのである。だから感謝しかないのです。」そう思える自分になれたのです。

ご講話の一言一言に「そうだ！そう
だ！」と思わせていただけのように
なりました。宇治に足しげく通わせて
いただいて、講師の方々の確信に満ちた
言葉を聴くうちに、家に帰っても講師
の方達の声で「あなたは神の子ではな
いですか！光だ！光だ！」と、聞こえ
てくるようになってきました。

またこの一年、次々起こる現象に振
り回されながらも「現象はない、あるの
は真相のみ」と常にここに帰るように
生活していると、現象は電車の車窓を
過ぎていく景色のごとくどんどん変わ
り、「一か月前に心配していたことは何
だったかな？」というようになり、現
象はこういうものなんだと教えてい
ただいたように思います。



現象的に言えば、息子にしろ、娘にし
る色々あり、子育てで大失敗
とも言われても仕方
のないよ
うな私に、

清水講師が「お母さんの祈りは母の愛そ
のものであり、その祈りは全てのお母さ
んに響きますよ」と言ってくださり、そ

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文



本日はすばらしい、「一日講話」、浄心
行の一日を過ごさせていただき、講話
体験談を通して久々に心身共にすつき
りとさせていただきました。

榎本講師の「罪はなし」のご講話か
らはじまって、包み(罪)は本物が包
まれているだけで、包みを取り外すだ
けでよく、それが真理の話をお聴くこと
でよいこと、本日の浄心行の行などを
機会あるごとに受け、浄めていくこと
などを聴きました。

正に本日も素晴らしい行であり、受
ける前と受けた後では全然身体を感じ
が異なって、スカッと周りが明るい感
じがしております。

のお言葉に涙が出そうになりました。有
難うございました。

本日元気を頂き、エネルギーが
チャージできたと思えますので、この
調子で日々の業務を勤めて参りたい
と思えます。お世話くださいましたス
タッフの皆様にも感謝申し上げます。
本日は有難うございました。



約一年ぶりの「一日講話」への参加で
す。昨年は友人との参加でしたが、今
回は小学六年生の長男と小学三年生の
次男を連れて参加しました。いつもは
妻を含めての家族で参加するのですが
たまには男同士、途中サーブスエリア
で車中泊しながら、色々と普段は話せ
ない事を話すきっかけになるかと思
い、計画しました。

子供達の宇治への参加は六年余り前
のことなので、あれから成長した子供
達が、講話やお祈りや浄心行などをど
のように感ずるか少し不安に感じて
いましたが、子供たちは講話のメモを
しっかり取ったり、お祈りはよい姿勢
でちゃんと行い、特に長男の浄心行用
紙に集中して沢山の心の思いを書き
綴っている姿に、生長を感じて驚いた
次第です。嬉しかったです。

今子供達は宇治を知ること、さら
に成長していったとき、宇治が心のふ
るさたになっているのだろうか、父
親として大安心を持つことが出来まし
た。有難うございました。



研修生を終えて約一年ぶりに宇治に
来ることが出来ました。宇治に来て
講話を聴けてよかったです。

すべては愛の生長であり、自分を責
めてしまう気持ちも、物事に引つ掛
かって苦しんでしまつことも、すべて
肯定して祝福していいことと思いまし
た。

研修生を終えて下山するとき、清水
講師が「三か月に一回位『一日講話』に
来たらいいよ、心が軽くなるから」と
言ってくれましたが、日々の生活
仕事の中で、宇治のことを忘れてきて
いました。宇治に行くのにもお金も時
間もかかるし…」と言いつのようなこ



〈神癒祈願のお礼状〉

司法試験に合格

S. M (女性)

去年、息子から司法試験を受けると
聞き、試験の合格と就職先が決まるよ
う、末一祈願、写経、神癒祈願を出させ
ていただきました。七月に試験を受け、
八月に法律事務所から内々定を頂きま
した。法律事務所からは、試験に合格
したら是非と言われていたようです。

試験から四ヵ月後の十一月、無事に

を思っていました。今後は三か
月に一回くらいは宇治に来て、「一日
講話」を受けようと思えました。
今日は来て本当によかったです。
今、心はスッキリと軽くなっております。

合格したとの連絡がありました。本当
にありがとうございました。

脳腫瘍の手術が成功

S. S (女性)

八月下旬、息子の脳の真ん中に腫瘍
があると言われ、MRI検査をするこ
とになり、神癒祈願を出させていた
きました。

おかげさまで脳腫瘍の開頭手術が無
事に終わり、難しい手術だったそう
ですが、とてもスムーズに出来、予後も
良く二週間ほどで退院でき、先日
仕事にも復帰いたしました。

なにより、通常なら救急搬送されな

いと見つからない珍しい腫瘍を街の病院で見つけていただき、紹介された大学病院へも自転車で行ける距離で、万事好都合に運びました。

お祈りいただき、ありがとうございました。

三年越しで妊娠・出産

M・S
〈女性〉

約三年、神の子が授かりますようにと、神癒祈願をさせていただき、令和五年春に念願の神の子さんを授かることができました。

私は結婚が遅かったことや、仕事のタイミングなどもあり、当初から不妊治療をしておりましたが、職場へは治療を公にすることなく、不妊治療と仕事の両立は大変厳しいものでした。そもそも受精卵ができない、体調不良で治療できないということが五〜六回ほど続き、その度に「こんなに努力している、なんで私には赤ちゃんが授からないのだろう」と言葉にならない悲しみ

と無力感を抱えたまま、誰にも打ち明けられず、一人涙することが何度あったか分かりません。

ある時、担当医ではない先生から「赤ちゃんは無理だと思った方がいい。諦めた方がいいです」と言われたので、「どうしても欲しいのですが……」と伝えようと、「もう無理ですね。もっと早く治療を始めるべきでしたね。今更言っても仕方がありませんが。どうしても欲しいのなら、若い女性の卵子をもらってくるといふ手もあります」と言われました。この時の絶望感、耳がキーンという音を立てて、体が火照るような体験でした。それと同時に、「そんなはずがない、不可能はない」という強い思いが湧き上がってきました。その時から私の信仰生活は大きく変化しました。私は幼い頃から母が生長の家に入信していたお陰で、小学生の頃から生長の家のお考え方が染みついており、「人間神の子無限力」という思いを持ち続けていました。しかし、今思うと、あくまで母の信仰を母の子供として付属的に信仰していたような感じだったと思

ます。「赤ちゃんは諦めた方がいい」と言われてからは、本当の意味で私自身が生長の家の御教えに触れることができたように思います。

毎朝一時間かけて通勤する電車の中では、生長の家の講話や『甘露の法雨』などを聞き、心を清めて考え方をいつも生長の家の教えに向けました。「神様は全て心で思うことによってこの世界人間を創られた。全知全能の神様の子神様の自己延長、自己表現である私の思いが叶わないはずがない。神様の御心に叶う。私に必要な人、物、事物は全て既に私の中にある」と強く思うことにしました。神様を信じ抜く、ひいては神の子である自分自身を信じることに全力で努力しました。

そのような信仰生活を続けて半年が経ち、あの絶望の日から初めての受精卵確認の日、治療を開始してから初めて受精卵が一つ、成長してくれていたのです。そして、その受精卵を移植する日、神想観をしながら手術を迎え目を瞑っていると、瞼の奥に天国にいる祖父の顔が浮かんできました。努力家

で誠実で生長の家の教えを体現している祖父でした。その時、「赤ちゃんを授かった」と確信しました。

妊娠してからも、妊娠四ヶ月で切迫流産となり自宅安静し、ようやく落ち着いたらと思つて復職すると、また切迫流産で今度は入退院を繰り返して、最後は出産するまでの二ヶ月間は入院生活と、妊娠経過も順調ではありませんでしたが、いつも私には生長の家がありました。そして、神癒祈願でいつも宇治から祈つてくださっているということは、私の中でどっしりとした絶対的な安心感をもたらしてくれました。宇治の方々の優しく温かな強い思いを感じ、本当に有難かったです。

お陰様で、赤ちゃんは順調に育ち、元気に生まれてくれました。今は寝返りもし始め、元気で笑顔の可愛い神の子さんに育つてくれています。

妊娠 出産まで長い年月、様々な思いも経験しましたが、赤ちゃんは私に「本当の生長の家の教えとは何か、私はどう生きるべきか、大切なものは何か」を教えてくださいました。そして、家族をは

じめ本当に沢山の方々に助け、支えていただきました。その全ての時間、経験が私にとって必要なことであり、またこの経験がきつと今度は誰かのお役に立てることが来ると信じています。

これからも「私は神の子」という思いを常に心に刻み、これまでであらゆる方から授けていただいたご恩を胸に、生長の家の教えに生きたいと思えます。本当にありがとうございました。

手術が中止

A. R (女性)

八月の大祭の時に友人が宇治参りに行き、私の卵巣治療の祈願を出してくださいました。病気は五月の検査で判明しており、先日の手術前検査に行くのと腫れていた卵巣が治っていました。その為、手術が中止となりました。

素晴らしいお祈りをありがとうございました。皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

新年祭時の

「神癒の社入龍宮幽斎殿行事」と「新春書初め」について

- ① 1月1日(元日)～3日迄、神想観実修(午前10時、午後1時)並びに書初め、写経実修は行いません。
- ② 幽斎殿二階のお参りはできます。静かにお祈りください。
- ③ 1月4日より神想観実修、書初め・写経実修ができます。

◎書初め受付期間 令和5年12月1日～同6年1月31日迄

◎奉納金 200円以上(大人・子ども共通)

◎現金書留、または郵便為替にてお申し込みください。

詳しくは写経課迄、お問い合わせください。

◆祈願部写経課 電話 0774-21-2305 FAX 0774-21-2167

◆ 12月 宇治別格本山で行われる行事 ◆

- 11日(月)10:00～ 自然災害並びに
世界規模感染症慰霊塔月次祭
- 13日(水)10:00～ 宝蔵神社月次祭
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭
- 16日(土)15:30～ 先祖・流産児供養祭(※参列可)
- 19日(火)10:00～ 末一稻荷神社月次祭
精霊招魂神社月次祭



※「先祖・流産児供養祭」以外はすべて無参列となっております。

「先祖・流産児供養祭」は「ご先祖と共に悦びの一日講話」における行事として開催されますが、一日講話に参加されていない方でもご参列いただけます。ぜひご参列ください。

※供養祭における霊牌奉納をご希望の方は、当日午後2時30分までに大拝殿1階お受け所までお出してください。

★オンライン個人指導(無料)のご案内★

時間 : 9:20～12:00、13:00～16:00

※お申し込みにより日程を調節します

担当講師：清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補
岡田浩二本部講師補

(担当講師のご希望はお受けできません)

使用媒体：Zoomまたはメッセージ

お申し込み方法：

メールアドレス rensei@uji-sni.jp、または
Facebookページ「生長の家宇治別格本山」まで
メッセージをお願い致します。メッセージにお名前・
電話番号・ご希望日時を記入し、ご送信ください。
担当講師等の連絡事項を返信いたします。



“令和5年12月、令和6年1月の練成会の中止”が決定しております。それ以降の練成会開催につきましては、Facebookまたホームページで確認するか、お電話でお問い合わせください。練成会が開催しない週は、土日に「ご先祖と共に悦びの一日講話」を開催いたします(令和6年の一日講話は1月14日、15日の土日から開始予定です)。



宗教学 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。